

目 次

教科	教材・教具名	発達段階等	ねらい等	提案者	ページ
国語	仕掛け紙芝居 「ガンピーさんのドライブ」	絵本や紙芝居に興味をもち始める、模倣する動きが見られる(楽しむ)段階	お話に興味をもち、見聞きすることができたり、話のあらすじを理解することができたりする等	訪問学級	1
	仕掛けペープサート 「くいしんぼうのありさん」	絵本や紙芝居に興味をもち始める、歌を楽しんで聞ける段階	歌に興味をもち、ペープサートを見聞きすることができる。等	訪問学級	2
	仕掛け紙芝居 「はらぺこあおむし」	絵本や紙芝居に興味をもち始め、物を入れる・取り出すなどの簡単な操作のできる段階	お話に興味をもち、見聞きすることができる。話のあらすじを理解することができる。等	訪問学級	3
	あかまるちゃんたくろまるちゃん	絵本の読み聞かせを聞くことを楽しみ、登場人物に興味をもち。	登場人物に注目して、さし絵に登場人物を貼る。	小学部 1年生	4
	はらぺこあおむし ぼんたのおやつ	手渡したものを手で触ったり名称を確認しながら口に入れる段階、教師が口頭で伝えたように食べ物模型を数種類の中から選びとったり数を数えたりして口に入れる段階など	教師が手渡したり伝えたりした食べ物模型を選び取り、パペットに食べさせることができるようになる。	小学部 1年生	5
	ノタンもぐもぐ	物の名前に興味を持ち始め、食べ物に興味がある児童。二者択一で選ぶことができる児童。指先でつまんで入れることが理解できる児童。	食べ物の名前を知る。小さい絵カードを指先でつまんで入れる。	小学部 4年生	6
	トミカカードを探そう	平仮名が理解できるようになった時期	平仮名(語)のマッチングができる。平仮名(語)の理解を深める。	中学部 2年生	7
	りすとどんぐり	笑顔での交流が育つ時期～模倣・指さしを獲得する時期(国語科発達段階別指導内容表Ⅰ期～Ⅱ期)	物語の展開に合わせ、どんぐりを口の中に入れることができる。物語の展開に見通しをもち、期待感をもつことができる。	中学部 2年生	8
	様子を表す言葉の理解 形容詞編	基本的な形容詞(文字と音声のマッチ)の理解に時間がかかる場合。	形容詞の語感と音声・文字をマッチさせる。対称となる形容詞の比較により理解度を高める。	高等部 2年生	9・ 10
	算数・数学	大きい卵・小さい卵	操作することを通して数や量を認識する時期	大きさの違う図形板を大小の大きさを見分けて分類することができる。	小学部 2年生
色のマッチング		操作することを通して数や量を認識する時期	色の意識をもち、概念形成のもとになる力を養う。	小学部 3年生	12
ぱちんくん		操作することを通して数や量を認識する時期	10までの数の概念を育てる。1対1対応の方法を身に付けさせ、個数の違いを確かめる力を養う。等	小学部 3年生	13
数字と同じ数を探そう！		1～6の数詞がなんとなくできてきている。色のマッチングができる。	さいころを投げて出た目の数を数える活動を通して、単位がそろった1～6までの具体物と数詞を1対1対応させながら数える力を育てる。等	小学部 4年生	14
色と形に注目して 分けてみようの表		学習指導要領の図形・数量関係における2段階(3) 太田StageⅢ-1からStageⅢ-2(概念形成の芽生え)の初期段階	色(赤・青・黄・緑)と図形(丸・三角・四角・星型)の2つの条件を考えながら4×4の表に図形を貼りつけることができる。等	小学部 5年生	15
色と形の総合わく		太田StageⅢ-1からStageⅢ-2(概念形成の芽生え)の初期段階	見本を見て、同じものを色カードと形を切り抜いたカードを組み合わせることで作ることができる。等	小学部 5年生	16
かたちはめてはめて		操作を通して数や量を認識する時期(1)	丸、三角、四角、形の大小を感じ取る。	小学部 6年生	17
数字並べ		10までの数字が読め、さらに大きな数字にも興味をもってきた頃	40までの数字が読め、1から40までの数唱ができるようになる。	小学部 6年生	18
たまご入れて入れて		操作を通して数や量を認識する時期(1)	3～10までの簡単な1対1対応ができる。	小学部 6年生	19
数字と個数の理解		「発達段階別指導内容表 算数・数学」のⅢ期 操作することを通して数や量を認識する時期	1～5までの数字と個数の理解を深める。	中学部 2年生	20

教科	教材名	発達段階等	内容等	提案者	ページ
算数 数学	長さの単位 (パワーポイント教材)	授業対象: 高等部1年単一Ⅰ類型生徒	長さの単位の相互関係と単位が表すおおよその長さが分かる。	高等部 1年生	21
生活 単 元 学 習	さつまのおいも	学年全体で生活単元学習の「おいもを育てよう」にて、使用。	おいもの発育(つるの伸び、葉の大きさや枚数、おいもの大きさ、おいもの個数)などに興味をもたせる。	小学部 1年生	22
	カードリーダー	初めて(または数回)、市内電車で乗ろうとする段階。	パスピーを使って電車で乗ることができるということを知り、教師と一緒に乗り方の練習をするなかで乗り方を知る。	小学部 2年生	23
	宿泊学習用日程表	文字や時計が理解できる児童、写真カードの顔写真が分かる児童、「なくなる」と終わりになるということが分かる児童、それぞれの段階に応じて理解を促している。	宿泊学習の日程と最低限必要な情報(時間・係)を知らせる。また、宿泊の行程が一つずつ終わっていくことを視覚的に情報提供する。	小学部 4年生	24
	キャンプファイヤー 模擬装置	野外活動でキャンプファイヤーをする学年	野外活動に向けての取組の中で、キャンプファイヤーについての活動の見通しやイメージをもたせる。	小学部 5年生	25
	はりきりコースター	小学部第6学年の修学旅行前の児童対象(中学部児童でも利用可)	修学旅行で行くおもちゃ王国でのアトラクション利用する上でイメージをもたせる。	小学部 6年生	26
	大きさを考えよう	授業対象: 高等部3年単一Ⅱ類型生徒	コインの厚み・大きさの違いを認識し分別する。	高等部 3年生	27
日常 生活 指導	お天気パズル	操作することを通して数や量を認識する時期～数や量の概念を形成する時期(1)	図柄の構成・手指の巧緻性の向上	小学部 6年生	28
	ふたのあけしめ練習	1対1対応ができる。手指の力を強くしたり巧緻性を高めたりしたい場合。	手指の巧緻性を高めるため。	高等部 2年生	29
自 立 活 動	きんぎょがにげた	感覚を通して外界との関わりを広げる時期	手指を動かしてしっかりと握り、引っ張り取ることができる。	小学部 6年生	30
	ドーナツ通し選手権	小さな物をつまむことができる	指先の巧緻性の向上	小学部 6年生	31
	ねじ回し	小さな物をつまみ、回すことができる。	指先の巧緻性の向上	中学部 1年生	32
	外部スイッチ対応扇風機	重度重複児童生徒 視覚に障害のある児童生徒など	「見る」「追視する」練習。因果関係理解(スイッチ操作)。	中学部 3年生	33
	クリップ留めの練習	指先に力を入れる動作が得意でない。	クリップ留めの活動を通して、指先に力を入れることを練習する。	中学部 3年生	34
	箸の練習	動的三点握りができるが操作の自由度は高くない。	箸の扱いに慣れ、食事で使えるようになる。	中学部 3年生	35
	ブランコ&スクーター ボード	肢体不自由児童生徒他	感覚統合訓練 姿勢の保持機能の向上など	中学部 3年生	36
	「社会的行動用(ソーシャルスキルトレーニング)ワークシート」	比較的軽度の知的障害や自閉症の高等部生徒を対象にしている。 (発達段階では5~6歳以上から8歳以下)	社会的行動形成の大きなねらいとして・集団生活の中で求められる場面に応じた言動やスキルを身に付ける	高等部 1年生	37~ 46
PECS スケジュール ボード	S-M社会生活能力検査(4歳11ヶ月)。言葉による指示をおおまかに理解でき、要求を一語文もしくは〇〇する、で口にすることができる。	衝動的な行動を抑制し、一つ一つの活動を落ち着いて確認しながら、一日の活動をスケジュールにそって臨むことができるようになる。	高等部 2年生	47	

教科	教材名	発達段階等	内容等	提案者	ページ
総合的な学習の時間	宿泊研修のしおり	対象:単一I類型生徒	宿泊研修の目標、日程、活動内容、施設利用上のマナー、食事のマナー、公共交通機関利用のマナーなどについて知る。	高等部 1年生	48～ 52
	ボランティア研修のしおり	対象:単一I類型生徒	高齢者・高齢者施設、ボランティアとしての態度と心構え、介護実技、日程、場所、活動内容について学習する。	高等部 1年生	53～ 57
進路学習	ウエス布 裁断補助器	対象:高等部1年生	ウエス作り用布を裁断する	高等部 1年生	58
作業学習	紙工用 視覚支援シート	S-M社会生活能力検査(4歳11ヶ月)。言葉による指示をおおまかに理解でき、要求を一語文もしくは〇〇する、で口にすることができる。	できるだけ少ない支援で、新しい作業にスムーズに臨めるようになる。	高等部 2年生	59
その他	視力検査お助けセット	形のマッチングができる段階。	視力検査の際に、ランドルト環を使用しての検査ができるようになること。	小学部 4年生	60
	パーテーション	自閉症の生徒を中心に使用。着席して学習したり休憩することができる生徒。	環境による刺激を減らし、学習に集中させる。好きな活動をすることで、気持ちを切り替えリラックスさせる。	中学部 1年生	61
	補助具	肢体不自由の生徒が活用する。	絵カードをボードに貼るときに、親指がボードとカードの間にはさまったままで、指がぬげず、手を離すことが難しかったので、それを防ぐため。	中学部 1年生	62
	セルフコントローラー	対象:重度・重複障害児	児童生徒の操作で機器のON・OFF操作ができる。	高等部 1年生	63
	給食カレンダー	全校児童生徒	給食の献立メニューが分かる。	保健指導部 給食係	64

教材・教具解説

教材教具名 仕掛け紙芝居 「ガンピーさんのドライブ」	教科等 (国語)	情報提供者() 訪問学級 ()
-------------------------------	----------	----------------------

教材教具写真



仕掛け例



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

- お話に興味をもち、見聞きすることができる。
- 話のあらすじを理解することができる。また、その動きを模倣することができる。

2 発達段階など

- 絵本や紙芝居に興味をもち始める、模倣する動きが見られる (楽しむ) 段階

3 使い方

- 教師や児童が仕掛けを操作しながら、一緒にお話を読み進めていく。途中、仕掛けの動きに合わせて、模倣表現が出るように促していく。

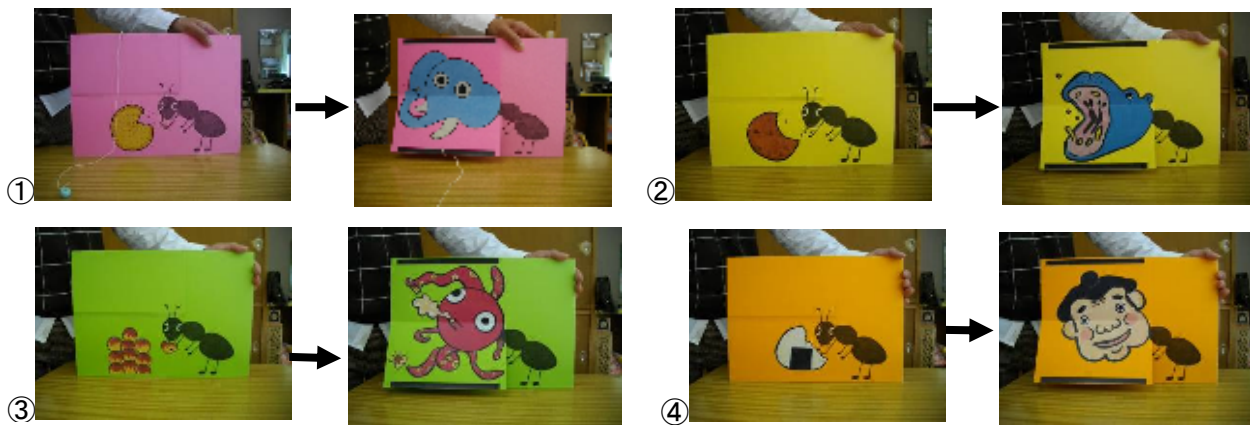
児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

- 絵本ではあまり目を向けなかった児童が、食い入るように見ている。
- なんとなく見てはいるが、どのくらい理解できているのか評価の難しかった児童が、話に合わせて登場人物を移動させることができたことから、展開や名称を理解していることが分かった。

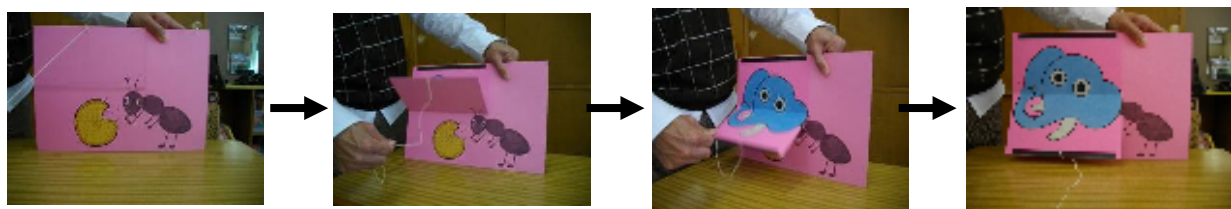
教材・教具解説

教材教具名 仕掛けペープサート 「くいしんぼうのありさん」	教科等 (国語)	情報提供者 (訪問学級)
----------------------------------	----------	---------	------	---

教材教具写真



展開例



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

- 歌に興味をもち、ペープサートを見聞きすることができる。
- 歌詞に合わせて様々な動物の顔へと、絵が変化することを楽しんだり、その変化を期待したりすることができる。また、ひもをつかんで引っ張り、自分で仕掛けを操作することができる。

2 発達段階など

- 絵本や紙芝居に興味をもち始める、歌を楽しんで聞ける段階

3 使い方

- 歌「くいしんぼうのありさん」に合わせて教師が仕掛けを操作し、「あり」を4つのものへ変えていく。慣れてきたら児童にひもを引っ張らせて、仕掛けを操作させ、楽しませる。授業回数を重ねる中で、上記以外のペープサートを作り、替え歌にしながら、様々なものへも変身させていく。

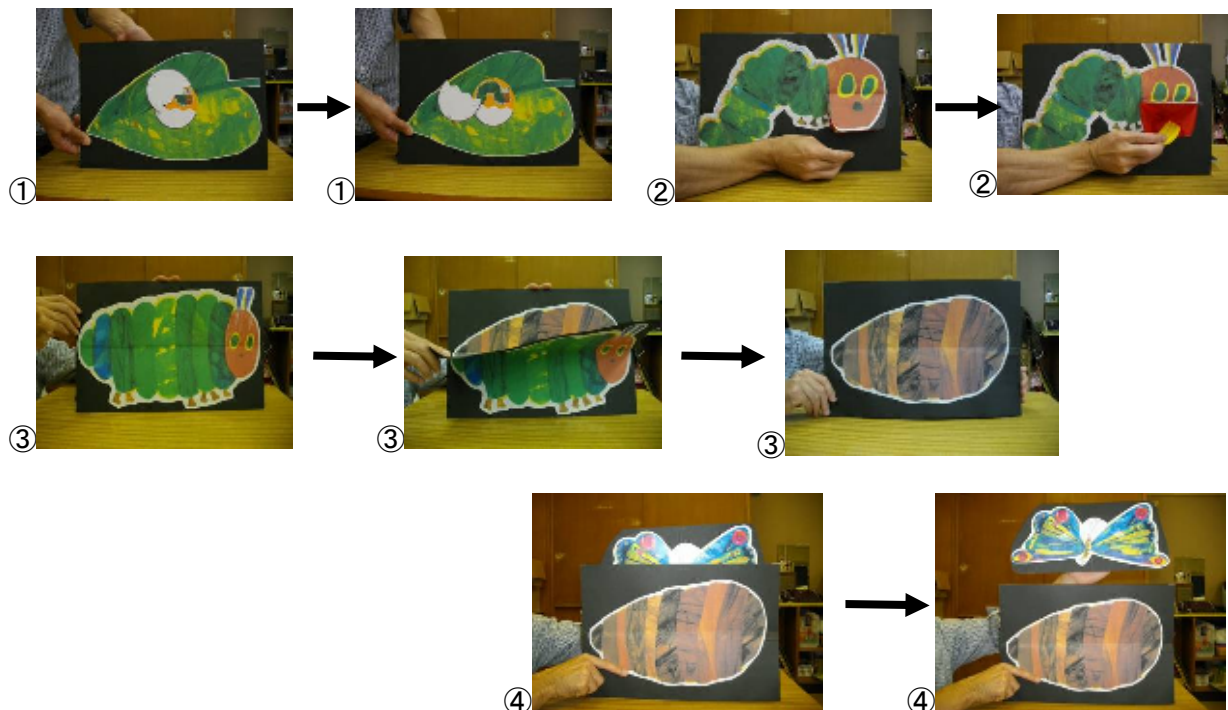
児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

- ペープサートをよく見ていた。仕掛けにより、「あり」から他の動物へ、パッと一瞬で変わる様子に驚きつつも、不思議そうな顔で自分の指で何度も仕掛け部分を触っていた。
- ひもの先にビーズ等の補助具を取り付けることで、自分の力で引っ張り、仕掛けを動かすことができた。

教材・教具解説

教材教具名 仕掛け紙芝居 「はらぺこあおむし」	教科等 (国語)	情報提供者 (訪問学級)
----------------------------	----------	----------------

教材教具写真



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

- お話に興味をもち、見聞きすることができる。
- 話のあらすじを理解することができる。また、あおむしの口へ食べ物模型を入れることができる。

2 発達段階など

- 絵本や紙芝居に興味をもち始め、物を入れる・取り出すなどの簡単な操作のできる段階

3 使い方

- 教師が仕掛けを操作し、お話を読み進めていく。途中、仕掛けを動かしたり、児童に言葉を掛けたりして、適切に物を操作できるように促していく。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

- 絵本よりよく見ていた。また分かりやすかったのか、一度手本を示すだけで、あおむしの口の中に食べ物模型を入れることができた。
- 回数を重ねる中で、卵の殻が開く部分や蝶の飛び出す部分など、自分から仕掛けを触り動かそうとしていた。

教材・教具解説

<p>教材教具名 あかまるちゃんとくろまるちゃん</p>	<p>教科等（国語）</p>	<p>情報提供者（ 小学部 1 年生 ）</p>
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登場人物に注目して、挿絵に登場人物を貼る。 <p>2 発達段階など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵本の読み聞かせを聞くことを楽しみ、登場人物に興味をもつ。 <p>3 使い方</p> <p>絵本「あかまるちゃんとくろまるちゃん」を読み聞かせする。最初は、「あかまるちゃん」に注目させ、「あかまるちゃん」が登場するページに「あかまるちゃん」の顔を貼らせる。</p> <p>次に、「くろまるちゃん」に注目させ、「くろまるちゃん」を貼らせる。</p> <p>国語の時間の回数が進むにつれて、「あかまるちゃん」と「くろまるちゃん」の顔を選んで、登場するページに貼らせていく。</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）</p>		
<p>絵本「あかまるちゃんとくろまるちゃん」の読み聞かせをすると、挿絵や短い言葉に子どもたちは興味をもった。繰り返し読み聞かせをする中で、絵本の中の言葉を言ったり、挿絵の中の登場人物を指さしたりした。挿絵に登場人物の「あかまるちゃん」や「くろまるちゃん」を貼る活動は児童に何をやるか分かりやすいので、自分から意欲的にすることができた。</p>		

教材・教具解説

<p>教材教具名 はらぺこあおむし ぽんたのおやつ</p>	<p>教科等（国語）</p>	<p>情報提供者（ 小学部 1 年生 ）</p>
<p>教材教具写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>		
<p>教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教師が手渡したり伝えたりした食べ物模型を選び取り、パペットに食べさせることができるようになる。 <p>2 発達段階など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 手渡したものを手で触ったり名称を確認しながら口に入れる段階の児童から、教師が口頭で伝えたように食べ物模型を数種類の中から選んだり数数を数えたりして口に入れる段階まで、児童の実態に応じて幅広く対応できる。 <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「はらぺこあおむし」の絵本や「ぽんたのおやつ」の歌などで児童の興味を引き出した後に使用する。児童によっては、教師が手渡してそれを一緒に名称を確認したり形や色を確認したりしてからパペットの口に入れることもできるし、また、名称を伝えて選択させたり、数称してその数を取らせたり（算数的分野）することもできる。 		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）</p>		
<p>実際に口の中に入れて、それをパペットが食べるということで、興味をもって活動に取り組むことができた児童が多かったように感じる。児童の意欲を引き出すためには良かったのではないかと思う。ただし、児童によっては、そのことがうれしすぎて「選び取る」などといった活動に集中しにくくなり、「とにかく口に入れたい」という様子も見られたので、そのあたりの配慮は必要かもしれない。</p>		

教材・教具解説

教材教具名	ノンタンもぐもぐ	教科等 (国語・自立)	情報提供者 (小学部 4 年生)
-------	----------	-------------	--------------------

教材教具写真



※ 絵カードは児童がつまんで入れるときに持ち方によっては裏返ることもあるので、裏表どちらになっても絵が見えるように、絵カードは両面に絵を印刷する。

※ ノンタンの口は、カッターでくりぬいておき、入れると中に落ちるようになっている。

教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

- 食べ物の名前を知る。
- 小さい絵カードを指先でつまんで入れる。

2 発達段階など

- 物の名前に興味をもち始めた児童で、食べ物に興味がある児童。
- 二者択一で選ぶことができる児童。
- 指先でつまんで入れることが理解できる児童。

3 使い方

- 「ノンタン もぐもぐ」の絵本を読み聞かせる。
- 小さい絵カードをタッパーに入れる。ふたに大き目の同じ絵を貼っておく。
- 名前を言いながら、二つの絵 (タッパーのふたの絵) を見せる。
- 一方を選ばせる。正しくないときは、絵本を見せて同じ食べ物の絵を選ばせるように支援する。
- ふたを開けて中から小さい絵カードを取り出し、つまみやすいように差し出す。
- 児童がつまんだことを確認後、ノンタンの箱を目の前に提示する。
- 児童が絵カードを口に入れたら、「〇〇、おいしいね。」と評価する。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

楽しみながら、やっていた。

教材・教具解説

教材教具名 トミカカードを探そう	教科等 (国語)	情報提供者 (中学部2年生)
------------------	----------	------------------

教材教具写真

A

③ カードを選ぶ。 ② カードを入れる。 ① 完成！

④ カードを準備する

B

② カードを選ぶ。 ③ カードを入れる。 ④ 完成！

教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

- 平仮名 (語) のマッチングができる
- 平仮名 (語) の理解を深める

2 発達段階など

平仮名が理解できるようになった時期

3 使い方

- ケースに 平仮名カードを入れて準備する。
- 数枚のカードの中から、適するカードを選ぶ。
- 選んだカードを枠に入れる。
- 完成！

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

トミカが大好きな生徒の教材として使用したため、興味・関心をもって取り組んだ。繰り返すことで、車の平仮名での名称も覚え 平仮名のさらなる定着につながった。

教材教具名	りすとどんぐり	教科等 (国語)	情報提供者 (中学部 2 年生)
-------	---------	----------	--------------------

教材教具写真



りすの口の中
にどんぐりを
入れる。



りすのくしゃ
みを空気砲で
表現する。

教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい
 - 物語の展開に合わせ、どんぐりを口の中に入れることができる。
 - 物語の展開に見通しをもち、期待感をもちことができる。
- 2 発達段階など

笑顔での交流が育つ時期～模倣・指さしを獲得する時期
(国語科発達段階別指導内容表 I 期～II 期)
- 3 使い方

【あらすじ】 冬眠のためにどんぐりを集めるりす。ほっぺに1個、2個・・・と詰め込み、10個詰め込むことができたら、家まで運ぶ。しかし、運ぶ途中で太陽を見てしまい鼻がむずむずしてくる。そして、「はっくしょん！」とくしゃみをしてどんぐりを全部吹き飛ばしてしまったりすは、再びどんぐりを探しに行く。その繰り返しを経て、最後は無事に家までどんぐりを運ぶことができる。

【進め方】 絵本「りすとどんぐり」をアレンジし、大型パネルにしたものを教材として使用した。教師があらすじを読み進める中で、どんぐりを口に入れるということを課題として設定した。6人の生徒が順番にどんぐりを入れ、10個全部入れる。この課題が終わると、りすが太陽の光を見てくしゃみをする場面になる。この場面では、教師が「はっはっはっくしょん!!」と言いながら空気砲をたたく。そのとき、空気が生徒の顔に当たるように空気砲の穴の向きを調節する。全員に空気砲で空気を送った後は、また元の場面に戻って、りすの口の中にどんぐりを入れる課題に戻る。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

- この物語は、どんぐりをりすの口に入れ、太陽が出てきたらりすがくしゃみをするという流れが単純で、生徒も期待感をもって活動していた。
- 最初は、物を離すということに時間が掛かっていた生徒もいたが、回数を重ねるごとに「りすの口に入れる」という動作に見通しをもちことができるようになり、離すまでの時間が短くなってきた。
- どんぐりを口に入れながら数を数え、「1つ プクッ!」、「二つ プクップクッ!」というように擬音語を付けることで増えていく様子をイメージしやすくした。そのため、りすがくしゃみをする事への期待感をもたすことができ、数が増えるごとに生徒の表情が良くなっていった。
- 4回目の授業では、生徒に「りすはどんぐりをどうやって運ぶのかな?頭に載せて運ぶ?それとも口に入れて運ぶ?」という質問を生徒に行った。すると、複数の生徒が「口に入れて運ぶ。」という方に返事をする事ができ、物語の内容理解を深めることができた。
- この学習グループは6人で編制されているため、どんぐりを口に入れるという活動のときの待ち時間が長くなる。そのため、待っている生徒の気持ちを途切れないようにするためにも、3人程度の少人数で行った方が、より集中して取り組むことができると考えられる。
- どんぐりを入れるという活動は、個々の四肢の可動域や得意な動きで行えるよう、更に教材(パネル)の工夫が必要である。

教材・教具解説

教材教具名 様子を表す言葉の理解 形容詞編	教科等 (国語)	情報提供者 (高等部 2 年生)
教材教具写真 別紙プリント		
教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等		
1 ねらい ○ 形容詞の語感と音声・文字をマッチさせる。 ○ 対称となる形容詞の比較により理解度を高める。 2 発達段階など ○ 基本的な形容詞 (文字と音声のマッチ) の理解に時間が掛かる場合。 3 使い方 ○ 児童生徒が理解している具体物を準備し、二つの形容詞が比較しやすいようにする。 例: 「あつい・つめたい」の場合であれば、赤いコップについだ熱いお茶と白いコップについだ冷たい水を準備しておく。 ○ 具体物を見せたり、触れたりしながら「あつい?つめたい?」と質問して答えを引き出し、正解をプリントに記入させる。		
児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)		
形容詞の比較に焦点を絞って6時間程度の時数で授業を行い、児童生徒の理解を確認しながら進めることができた。一方で各児童生徒の理解しにくいポイントを把握することもなり、理解を促すための段階を細分化していく工夫が必要であった。		

つぎの しつもん に こたえ ましょう
() に ことば を かき ましょう

1) どちらが おおきい ですか → () が おおきい です。
どちらが ちいさい ですか → () が ちいさい です。

2) どちらが ながい ですか → () が ながい です。
どちらが みじかい ですか → () が みじかい です。

3) どちらが おもい ですか → () が おもい です。
どちらが かるい ですか → () が かるい です。

4) どちらが はやい ですか → () が はやい です。
どちらが おそい ですか → () が おそい です。

5) どちらが おおい ですか → () が おおい です。
どちらが すくない ですか → () が すくない です。

6) どちらが あつい ですか → () が あつい です。
どちらが つめたい ですか → () が つめたい です。

7) どちらが ふかい ですか → () が ふかい です。
どちらが あさい ですか → () が あさい です。

8) どちらが あかい ですか → () が あかい です。
どちらが きいろ ですか → () が きいろ です。

9) どちらが きれい ですか → () が きれい です。
どちらが きたない ですか → () が きたない です。

10) どちらが ひろい ですか → () が ひろい です。
どちらが せまい ですか → () が せまい です。

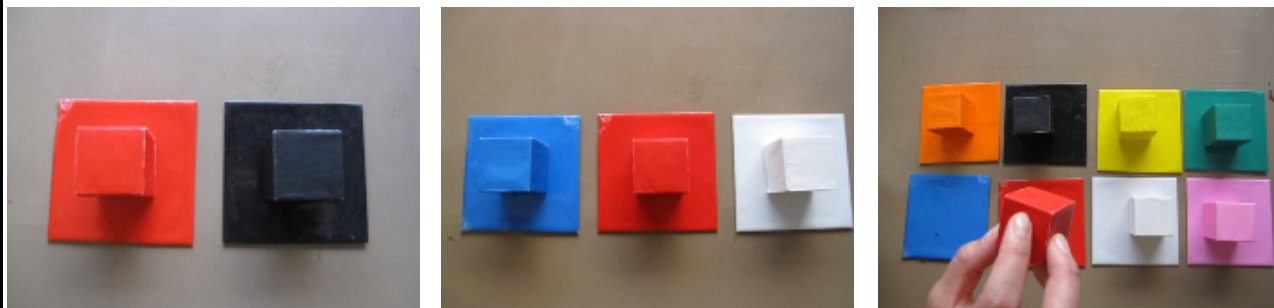
教材・教具解説

教材教具名 大きい卵・小さい卵	教科等 (算数)	情報提供者 (小学部 2 年生)
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい 大きさの違う図形板を大小の大きさを見分けて分類することができる。</p> <p>2 発達段階など 操作することを通して数や量を認識する時期</p> <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大きいカエルと小さいカエルが登場し、2匹の卵が混ざってしまったことを伝え、卵を分けるのを手伝ってほしいとお願いをする。 ○ やりたい人から挙手をし、順に大小の卵を分ける。 ○ 卵を分けてくれたお礼にカエルたちと一緒に「かえるのうた」を歌う。 		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)</p>		
<p>活動のキャラクターを設定することで、子どもが興味をもって活動することができるようにした。活動に入るときは、カエルの絵を見た子どもたちが「カエル子ちゃん。」と発言するようになった。大小の卵は、形や色は同じで大きさだけが違うものを作成し、大きさの違いだけに注目して分類できるようにした。初めは大小の卵一つずつを分けることから始めたが、繰り返し学習することで、たくさんの数の卵を分類することができるようになった。</p>		

教材・教具解説

教材教具名	色のマッピング	教科等 (算数)	情報提供者 (小学部3年生)
-------	---------	----------	------------------

教材教具写真



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

色の意識をもち、概念形成の基になる力を養う。

2 発達段階など

操作することを通して数や量を認識する時期

3 使い方

- 机上に色板を1枚置き、児童には同じ色の積木を渡して「同じ色の所に置いてください。」と言葉掛けをして色のマッピングをさせる。(1対1対応から始める)。
- 慣れたら2色に増やし、片方には始めから積木を置いておき、空いている方を探して置くよう促す。
- できたら始めから自分で同じ色を探して置くようにする。色は原色から始め、隣に類似色を置かないよう注意する。
- このようにして、色を段々と増やしていく。4色以降は1列にしたり2列にしたりして行う。


児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

始めにしっかりと1対1対応をすることで、2色、3色になっても同じ色の上に置くというきまりがよく理解できていた。始めは、児童の利き手や得意な向きの方から、慣れてきたら反対側からも行い視野を広げて探させるようにした。

色が増えてきたら、色板の配色に気を付けるようにした。

マッピングだけでなく、色積木を使って「赤の積木をください。」と色の名称を覚える児童にも使用することができた。

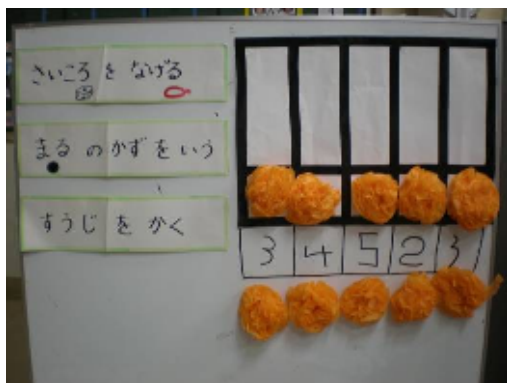
教材・教具解説

教材教具名 ぱっちんくん	教科等 (算数)	情報提供者 (小学部3年生)
教材教具写真		
		
教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等		
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 10までの数の概念を育てる。 ○ 1対1対応の方法を身に付けさせ、個数の違いを確かめる力を養う。 ○ 量の違いを感覚的にとらえる力を身に付けさせる。 <p>2 発達段階など</p> <p>操作することを通して数や量を認識する時期</p> <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 皿を選ぶ。(教師が選んでもいいし、児童が選んでもいい) ○ 点に沿って順番に同じ色の洗濯ばさみを挟んでいく。 ○ 挟むときに数唱させる。 ○ はずすときも、順にはずしていく。 		
児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)		
<p>手順を示すと、どの児童も取りかかりやすい教材で集中して取り組むことができた。数の概念が入りかけている児童には、ヒントとなる点を無くし数字だけの皿でもできるようになってきた。二つの皿を見せて視覚に量の違いを指導するのにも使用した。また、皿に書いてある色の違いも判断し、数も判断させて二つのことが1度に認識できるようにもさせてみた。毎日少しずつの取組で、そのとき間になると自分からトレイを持ってきて自学できる児童も出てきた。</p>		

教材・教具解説

教材教具名 「数字と同じ数を探そう！」	教科等 (算数)	情報提供者 (小学部4年生)
---------------------	----------	------------------

教材教具写真



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

- さいころを投げて出た目の数を数える活動を通して、単位がそろった1～6までの具体物と数詞を1対1対応させながら数える力を育てる。
- 出た目と同じ数の色シールカードを選ぶ活動を通して、丸の色や並び方が違っていても同じ数であるという数の保存の概念を育てる。

2 発達段階など

- 1～6の数詞がなんとなくできてきている。
- 色のマッチングができる。

3 使い方

- サイコロを振って出た目の数を言う。
例) 教師:「いくつ?」→児童:「5。」または「1、2、3、4、5。」など
- ホワイトボードに数字を書く。
 - ・ 書けたら名前の上に花丸をつける。
- 同じ数を表すカードを探す。
 - ・ 数字のカードを探す。
 - ・ 数字と同じ数のシールが貼ってあるカードを探し出す。
 - ・ 色別の枠に当てはめる。
 - ・ 6枚すべて探し当てたら花丸を付ける。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

児童の好きなさいころを用いることによって、意欲的に学習に取り組む姿が見られた。初めは、「いくつ?」と聞かれても、「いくつ。」と繰り返したり、「さいころ。」と答えたりしていた児童も、繰り返すことで「1、2・・・」と数えることができるようになってきつつある。また、カードを探す活動を通して、丸の配列が違っていても「同じ」数だということが分かってきつつあり、探し当てるまでにかかる時間が徐々に短くなってきている。今後は、5～10さいころを作り、さらに大きな数の概念形成に取り組んでいきたいと考えている。

教材・教具解説

教材教具名	色と形に注目して分けてみようの表	教科等 (算数)	情報提供者 (小学部 5年)
-------	------------------	----------	------------------

教材教具写真



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

単元全体『表を使って色・形の二つの条件での仲間分けができる。』

課題① 色(赤・青・黄・緑)と図形(丸・三角・四角・星型)の二つの条件を考えながら4×4の表に図形を貼りつけることができる。

課題② 色(赤・青・黄・緑)と形(亀・鳥)の二つの条件を考えながら4×2の表に図形を貼りつけることができる。

課題③ 二つの色と複雑な形を組み合わせた条件を考えながら4×4の表に図形を貼りつけることができる。

2 発達段階など

学習指導要領の図形・数量関係における2段階(3)

太田 StageⅢ-1 から StageⅢ-2 (概念形成の芽生え)の初期段階

3 指導にあたり

- 円や三角形などの単純図形と複雑な要素をもった形(鳥・亀・Tシャツ・コップ)を組み合わせることで、より算数科と日常との結びつきができるように配慮した。
- いくつかの種類の表を用いたことで、児童の課題に合わせて難易度を調整した。
- 形の切り抜きやカードを表に貼り付ける学習を中心に行っている。




児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

授業においては、児童が今まで学習してきた色・形の概念を組み合わせることで基礎的な二重分類を行った。二重分類とは、2種類の色と形を組み合わせるときに4種類の分類ができることを意味する。

課題①は一斉指導で取り組み、友達の活動を見ることで次の自分のヒントになることや一つの表を全員で完成させる達成感を感じられるようにした。また、児童が図形に触れる経験を通して、角の尖り具合や円の丸みを意識させるようにした。課題②、③は個々の実態に合わせて課題を設定した。ここでは、上記のように日常生活との結びつきを考慮して教材を作成している。

表にはマグネットで貼り付けができるようにしており、課題を変更したり、何度も取り組むことができるようにしたりした。また、図形やカードを表に貼り付けることだけでなく、児童に「○色の△」と言葉で表現することや、指定した図形を表から選択するという学習も行った。

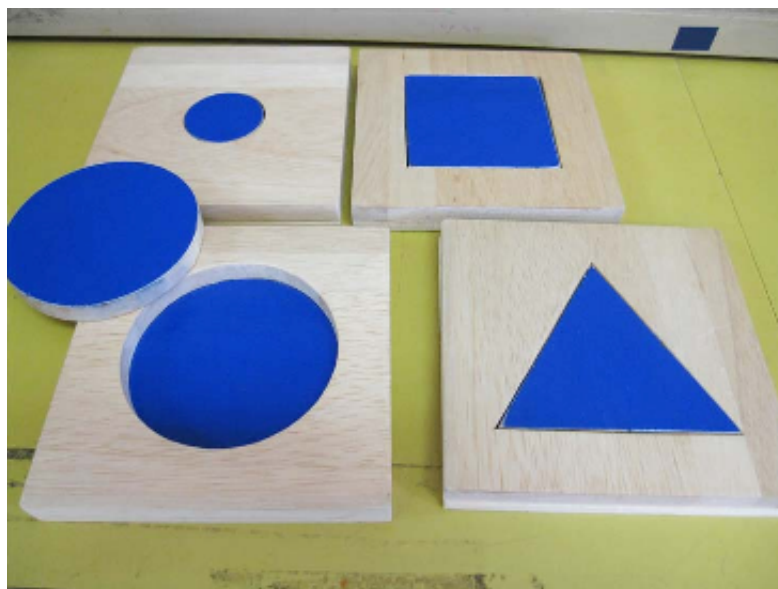
教材・教具解説

教材教具名 色と形の総合わく	教科等 (算数)	情報提供者 (小学部 5年)
<p>教材教具写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		
<p>教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見本を見て、同じものを色カードと形を切り抜いたカードを組み合わせて作ることができる。 ○ 言葉による名称(色+形)を聞いて、色カードと形を切り抜いたカードを組み合わせて作ることができる。 ○ 組み合わせたカードを見て、名称(色+形)を答えることができる。 <p>2 発達段階など</p> <p>太田 StageⅢ-1 から StageⅢ-2 (概念形成の芽生え) の初期段階</p> <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童に見本のカードを見せ、色、形、名称について聞く。 ○ 児童の手元にカード及び総合わくを配布する。 ○ 見本を示したり、言葉で指示をしたりして、児童にカードの選択や組み合わせをさせる。 <p>4 指導にあたり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ カードを組み合わせる際には、色→形の順番を意識させた。 ○ 表現の仕方を統一するために「赤い○○」ではなく「赤色の○○」ということばで表すようにした。 <p style="text-align: center;">※引用・参考文献 国土社 「歩きはじめの算数」 遠山 啓 著</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)</p>		
<p>参考文献を基にしながら、形や色への意識が高まってきた児童に対して、形と色とを統合してものを作らせたり、ものを分析して色と形に分けさせたりする指導を行っていった。特に、「ことば(概念)とことば(概念)を組み合わせると新しいことば(概念)ができることを視覚的に理解させること」を意識した。【参考文献より引用】</p> <p>本単元を行う前の児童は、「赤色の鳥」のカードを見せても「赤」もしくは「鳥」と答えており「赤色の鳥」とは答えられなかった。学習を通して「青色の鳥」や「白色の猫」といった二つの概念を合わせたことばで表現できるようになった児童もいる。一方で色カードの中から選択をした後で、形のカードの中から選択するといった手順を追うことで組み合わせることができた児童もいる。</p> <p>児童の多くは自分の手元での操作を通して、色と形の組み合わせの変化に興味を示し、楽しみながら学習をすることができていた。</p>		

教材・教具解説

教材教具名	かたちはめてはめて	教科等 (算数)	情報提供者 (小学部 6年生)
-------	-----------	----------	-------------------

教材教具写真



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい
丸、三角、四角、形の大小を感じ取る
- 2 発達段階など
操作を通して数や量を認識する時期 (1)
- 3 使い方
 - 土台の型を並べる (児童の課題に応じて数は2~4枚)
 - 形ピースを一つずつ渡し、型に入れさせる。
操作力の低い児童には、ぴったりはめるところを手伝う。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

市販の物には持ち手が付いているため、形に持ち手を付けるかどうか悩んだが、持ち手がない方が形の全貌をしっかりと触って理解しやすかったように思う。

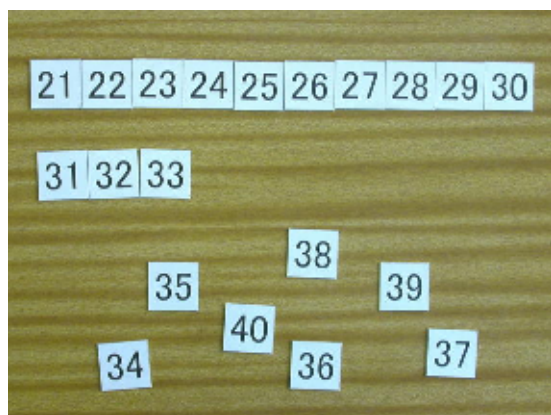
児童の課題に応じて、「○と△」→「○と□」→「△と□」→「○と△と□」→「○と○」→「○と△と□と○」という風に段階を踏んで型はめをさせていく。△と□の違いを認識できるか否かが大きな壁になっているように思う。

初めはどちらかにひたすら入れようとする児童もいるが、そのまま見守り、「こちらには入らないからこっち」という考え方に到達するまでも大切にやりたいと思う。

教材・教具解説

教材教具名 数字並べ	教科等 (算数)	情報提供者 (小学部 6年生)
------------	----------	-------------------

教材教具写真



すしをかこう!

1	2	3		5	6		8	9	
11	12	13	14		16	17		19	
21	22		24	25	26		28		30
	32	33		35	36	37	38		40

宿題プリント

教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

40までの数字が読め、1から40までの数唱ができるようになる。

2 発達段階など

10までの数字が読め、さらに大きな数字にも興味をもってきた頃

3 使い方

- 1から10までのカードを読みながら、並べる。(既習得学習)
 - 教師と読みながら1から10を参考に11から20まで並べる活動をする。
 - 教師の支援を減らしながら、自分で11から20までを並べる。
 - ランダムに並んだ11から20を見つけながら、並べる。
 - 11から20を参考に21から30までを同様に支援を減らしていきながら並べる。
 - 31から40まで同様に支援を減らしていきながら並べる。
- ※ 並べたものを回収するときは、数唱しながら数字と読みを意識させながら集めていく。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

- 並べる活動をすることで10進数の規則性を視覚的につかんでいくことができた。
- きれいに並べるために支えになる棒などを置くと良かったかもしれない。
- 平衡して虫食いの数字並べのプリント学習を毎日宿題にしたことで、定着に役立った。
- 朝の会で日めくりに日にちの数字を読む係をさせたことで学習の定着に役立つとともに、クラスに役立っている気持ちをもつことにもつながっていると思う。

教材・教具解説

教材教具名	たまご入れて入れて	教科等 (算数)	情報提供者 (小学部 6 年生)
-------	-----------	----------	--------------------

教材教具写真



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

3～10までの簡単な1対1対応ができる

2 発達段階など

操作を通して数や量を認識する時期 (1)

3 使い方

○ コップを並べる。(児童の課題に応じて数は3～10まで)

○ 卵を一つずつ渡し、カップに一つずつ入れる。

児童によっては卵をかごに入れて一度に渡し、かごから一つずつ取って入れる。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)


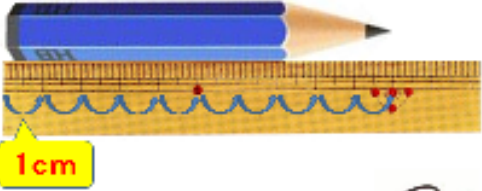

以前にはもう少し大きな皿に一つずつ入れさせていたが、操作力が高まってきたため小さなコップに入れさせることにした。こうすることで、卵はコップに一つしか入らず、1対1対応の必然性を児童に理解させることができた。すっぽりとぴったり入るため、児童にも達成感がある。

コップの口の部分が認識しにくいいため、鮮やかな色のテープを口の縁に貼って分かりやすくさせている。


課題を高くする際、児童は端のコップ (増えた一つ) が認識しにくいようだ。

教材・教具解説

教材教具名 数字と個数の理解	教科等 (数学)	情報提供者 (中学部 2年生)
<p>教材教具写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p>教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1～5までの数字と個数の理解を深める。 <p>2 発達段階など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「発達段階別指導内容表 算数・数学」のⅢ期 操作することを通して数や量を認識する時期 <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 数字カードを1から順に手渡し数唱しながらホワイトボードに左から貼っていく。 ○ 教師が数字を指で数を作り写真カードを手渡し数唱しながら数字カードの下に貼っていく。 ○ 個数カードを手渡し数唱しながら数字カードの下に貼っていく。 ○ いちご模型を1から順に手渡し数唱しながら紙皿の上に置いていく。 		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 台紙をホワイトボード (100円ショップ) にし、カードに磁石を付けることで生徒にとって扱いやすく、繰り返し使える教材であった。 ○ 具体物を生徒の好きな物 (いちご・ケーキの模型) にし、写真カードもキャラクターを使用することによって関心を高めた。 ○ カードを見てのマッチングだけで終わらないように気を付け、個数の理解が深まるように継続していく。 		

教材教具名 長さの単位 (パワーポイント教材)	教科等 (数学)	情報提供者 (高等部 1 年生)
<p>教材教具写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p><u>長さの単位をマスターしよう!</u></p> <p>長さにはどんな単位があるかな?</p>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>1cm</p> <p><u>cm</u></p> <p>センチメートル</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>		
<p>教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 長さの単位の相互関係と単位が表すおおよその長さが分かる <p>2 発達段階など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業対象：高等部 1 年単一 I 類型生徒 <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 数学「長さ」の単元で、長さの復習として使用した。 		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ cm、mmについては大まかな感覚として捉えられたようだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 物差しの目盛りの読み取り方として、一斉指導に役立った。 ○ 1 kmはおおよそのイメージとして提示した。具体的な距離感がつかめるよう「〇〇から××まで」と具体的な例で補足した。 		

教材・教具解説

教材教具名 さつまのおいも	教科等 (生活単元学習)	情報提供者 (小学部 1 年生)
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ おいもの発育 (つるの伸び、葉の大きさや枚数、おいもの大きさ、おいもの個数) などに興味をもたせる。 <p>2 発達段階など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年全体で生活単元学習の「おいもを育てよう」にて、使用。 <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活単元学習の授業で、年間を通して学級園に植えたさつまいもの成長を観察する授業を行う。その際、このパネルを用いて確認することで、興味をもたせるようにする。 ○ パネルは、授業の中で読み聞かせを継続して行う「さつまのおいも」の場面とも合わせてある。つるが伸びたり、つるに葉っぱを付け加えていったり、おいもを大きくしたり、個数を増やしたりしていくことで興味をもたせるようにする。 		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)</p>		
<p>現在のところ、授業としては、苗植えの授業と成長の確認、水まきの授業の2回使用している。成長確認の時に、児童に実際につるの部分のひもを引っ張らせたことで、児童が興味をもつきっかけの一つとできたのではないかと思う。</p> <p>現在も、廊下に掲示して普段から児童の目に入りやすいようにしていくことで、意識付けを行っているが、今後も継続して使っていくうちに、意識がもっと付いてくことを期待している。</p>		

教材・教具解説

教材教具名	カードリーダー	教科等 (生活単元学習)	情報提供者 (小学部 2 年生)
-------	---------	--------------	--------------------

教材教具写真



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

- パスピーを使って電車に乗ることができるということを知り、教師と一緒に乗り方の練習をする中で乗り方を知る。

2 発達段階など

初めて (または数回)、市内電車に乗ろうとする段階。

3 使い方

市内電車に乗る校外学習での事前授業にて

- 乗車リーダー (または降車リーダー) の模型を用いてパスピーをタッチする。
- 児童がタッチする前に、中に準備しているビックマックの電源を入れておき、音が鳴るようにしておく。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

本物と似た具体物を使用することで、児童の興味関心を引き付けることができた。また事前の学習により、乗車降車の場面でどのように活動すれば良いかを具体的に児童と考え、学習することができた。

乗車リーダー降車リーダーの模型の中にビックマックを使用して音が鳴るようにしたことにより、よりパスピーをタッチしたかがはっきり分かり、意識付けることができた。また、それを繰り返すことにより、自分からパスピーを使用しようとする動きも見られた。

教材・教具解説

教材教具名 宿泊学習用日程表	教科等 (生活単元学習)	情報提供者 (小学部4年生)
<p style="text-align: center;">教材教具写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>①</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>③</p>  </div> </div>		
<p style="text-align: center;">教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <p>宿泊学習の日程と最低限必要な情報 (時間・係) を知らせる。また、宿泊の行程が一つずつ終わっていくことを視覚的に情報提供する。</p> <p>2 発達段階など</p> <p>文字や時計が理解できる児童、写真カードの顔写真が分かる児童、「なくなる」と終わりになるということが分かる児童、それぞれの段階に応じて理解を促している。</p> <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全体の日程を最初に提示し、見通しをもつことができるようにする。 ○ これからの活動の行を表から取り外して、ホワイトボードに貼る。 ○ 活動が終了したら、その行は納める。 		
<p style="text-align: center;">児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)</p>		
<p>宿泊学習が終了すると、日程表は白紙になる。保護者から離れて初めての宿泊体験をした児童が多く、「学校に泊まる」「次の日には家に帰る」と伝えることが大切だと考えた。特に、「次の日には帰る」と知らせることが大切で、「次の日」「終わり」を知らせるために、取り外しができる日程表を作成した。</p> <p>事前学習でも同じ日程表を使用し、特に一つ一つの活動を取り上げるときもその活動の行だけを取り出して学習した。</p> <p>どこでも使用される日程表なので目新しいものではないが、日程表を見て自分で活動した児童、「スクールバスに乗らず泊まる」ということに混乱しなかった児童には役に立ったと言えるのではないかと考えている。また、家に帰りたと思った児童がいたが、今回の学習を通して、次回の野外活動でも同じタイプの日程表を使うことで、より見通しがもてるのではないかと考えている。</p>		

教材・教具解説

教材教具名 キャンプファイヤー模擬装置	教科等 (生活単元学習)	情報提供者 (小学部5年生)
教材教具写真		
		
点火前	点火時	
教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等		
<p>1 ねらい 野外活動にむけての取組の中で、キャンプファイヤーについて活動の見通しやイメージをもたせる。</p> <p>2 発達段階など 野外活動でキャンプファイヤーをする学年</p> <p>3 使い方 1部でトーチ棒を使った練習をしたり、点火の練習をしたりした。2部では、ファイヤーの模型を前にしてレクリエーションやスタントの練習をした。</p>		
児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)		
<p>野外活動やキャンプファイヤーを初めて経験する児童は多い。そこで事前学習を通して、活動の見通しをもたせたり、音楽やレクリエーションゲーム・ダンスなどの楽しい活動を増やしたりしてほしいというねらいのもと、本教材を作成した。</p> <p>野外活動当日は、強風のため断念してしまったが、点火時に児童が一人1本ずつトーチ棒を持ち、ファイヤー基までもっていくという事前学習では行った。全員の点火が終わると、スイッチを入れて中に入れた扇風機から風が吹くようにしている。厳かな雰囲気や音楽や火の効果音と組み合わせる等の工夫次第で、より一層本物に近いキャンプファイヤーの体験ができると考える。</p>		

教材・教具解説

教材教具名	はりきりコースター	教科等 (生活単元学習)	情報提供者 (小学部6年生)
-------	-----------	----------------	------------------

教材教具写真



教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

修学旅行で行くおもちゃ王国でのアトラクション利用する上でイメージをもたせる。

2 発達段階など

小学部第6学年の修学旅行前の児童対象 (中学部児童でも利用可)

3 使い方

- 児童乗車する。
- 1m程の位置で50インチTVでDVD再生
- 映像や児童の実態に合わせて教員がユニジャンプを揺らす。揺れ以外にも、肩をもって左右に揺らしてカーブの感じなども演出する。
- 映像が終わりになったら、児童下車する。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

目の前で再生することで臨場感があり、このバーチャル体験をしたことで、おもちゃ王国での乗り物のイメージをよりもしっかりもつことができ、修学旅行に行きたいとしっかり感じたり、その後の事前学習でも主体的に活動する様子が見られるようになるなど、本時以降での修学旅行へのモチベーションを高めることもできた。

足もとをもう少し安全にしたり、乗り降りを教員が支援しなくても乗れる工夫があるといい。

教材・教具解説

教材教具名 大きさを考えよう	教科等 (生活単元学習)	情報提供者 (高等部3年生)
----------------	--------------	------------------

教材教具写真



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

- コインの厚み・大きさの違いを認識し分別する。

2 発達段階など

- 授業対象：高等部3年単一Ⅱ類型生徒

3 使い方

- 箱に空いているスリットの厚み・大きさとコインの厚み・大きさをよく見て、コインを同じ大きさのスリットに挿入する。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

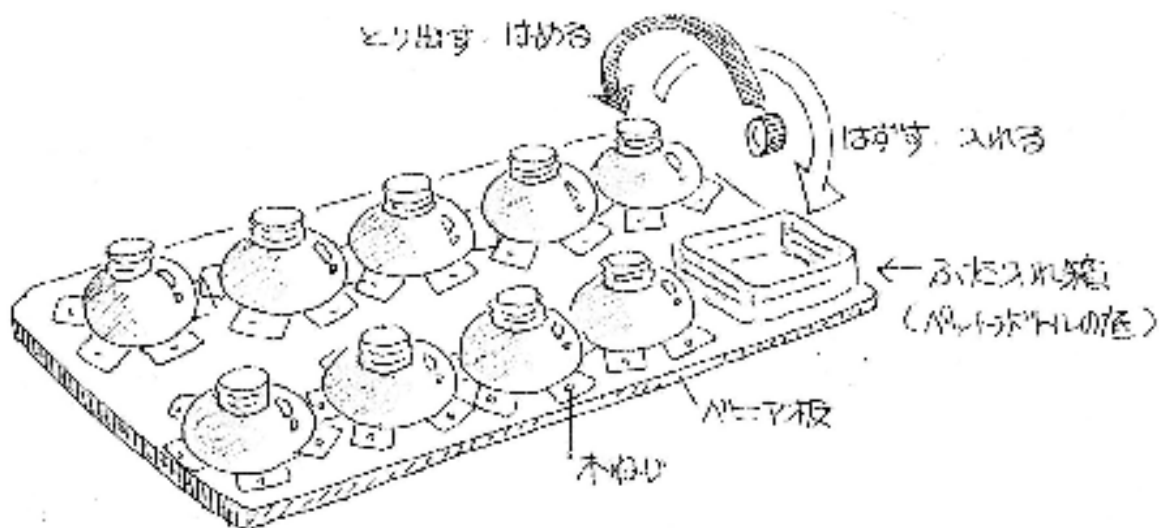
教材・教具解説

教材教具名 お天気パズル	教科等（日常生活の指導）	情報提供者（ 小学部 6年生 ）
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい 図柄の構成・手指の巧緻性の向上</p> <p>2 発達段階など 操作することを通して数や量を認識する時期～数や量の概念を形成する時期（1）</p> <p>3 使い方 その日の天気に合わせてピースを渡し、枠の中にパズルを完成させる。</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）</p>		
<p>木の板と枠を使って作製。アクリル絵の具で色を塗り、ニスを塗っている。鋸で切ったが、糸鋸の方がきれいにカットできたように思う。晴れのみ4ピースも作製している。</p> <p>枠に磁石を付けて白板に貼り付けるようにしているが、垂直に置いているとピースが落ちてきてしまう。透明なビニルシートを付ける等の工夫が必要だった。</p> <p>現在はその日の天候に合わせて必要なピースを渡してやっているが、片方だけ枠に入れて、必要なもう片方を選ばせるようにしても面白いかもしれない。</p>		

教材・教具解説

教材教具名 ふたのあけしめ練習	教科等 (日常生活の指導)	情報提供者 (高等部2年生)
-----------------	---------------	------------------

教材教具



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

手指の巧緻性を高めるため。

2 発達段階など

1対1対応ができる。手指の力を強くしたり巧緻性を高めたりしたい場合。

3 使い方

- ペットボトルのふたを、初めはゆるく閉めておき、少しずつきつく閉めた。それをねじり、はずしてふた入れ箱へ収める。
- 逆にふた入れ箱の中のペットボトルのふたを、ペットボトルにはめる。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

- 生徒はやり方の手本を見せるとすぐに理解することができた。
- 力の加減や、ねじる操作、ふた入れ箱へのふたの出し入れも理解することができた。
- ペットボトルのふたとリングの色のマッチング等にも利用可能である。
- 収納することを考えてペットボトルの上半分のみをホットカッターで切り、ベニヤ板に木ねじで取り付けた。しかし、実際には左手でペットボトルを保持して、右手でふたを取るの、左手の力の入れ加減が実際と異なった。
- ペットボトルの口が全て上向きなので、横向きにしたり、ペットボトル以外のジャム等のびんを開け閉めしたりすることも、ねらいに合うと思う。

教材・教具解説

教材教具名	きんぎょがにげた	教科等（自立活動）	情報提供者（ 小学部6年生 ）
-------	----------	-----------	-----------------

教材教具写真



教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

手指を動かしてしっかりと握り、引っ張り取ることができる。

2 発達段階など

感覚を通して外界との関わりを広げる時期

3 使い方

絵本「きんぎょがにげた」の大型絵本を作成し、フェルトの中に綿をつめて立体的な金魚を作った。絵本にはカバーフィルムを貼っており、どこにでも簡単に金魚をテープでくっ付けることができる。絵本を読み進めながら、児童が金魚を見付け、引っ張り取る。金魚は児童の実態に応じて、持ち手が付いてないもの、付いているものを作成した。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

絵本が大好きな児童にとって、楽しく手指を動かす練習ができるのでないかと考え作成した。金魚を動かすとしっかりと目で追い、どこに逃げるのかよく見ていた。金魚がどこにいるのか分かるとすぐに手を動かし、主体的に取り組むことができていた。児童の手の大きさに合わせて立体的な金魚の大きさを工夫したので、しっかりとつかむことができていた。児童の手指の動きの実態によっては、フェルトの金魚だとつかみとることが難しいので、取手を付けた金魚で行った。取手は実態に合わせて握りやすい素材、太さのものを選んだ。金魚の裏にはテープを付けて、どこにでも付くようにしているが、粘着度は児童の実態に応じて工夫すると良い。

教材・教具解説

教材教具名	ドーナツ通し選手権	教科等（自立活動）	情報提供者（	小学部6年生	）
-------	-----------	-----------	--------	--------	---

教材教具写真



教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

指先の巧緻性の向上

2 発達段階など

小さな物をつまむことができる

3 使い方

- 土台とドーナツを5つ、児童の前に置く。
- 「よーいどん」でドーナツを棒に通す。早く5つ入れた人が勝ち。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

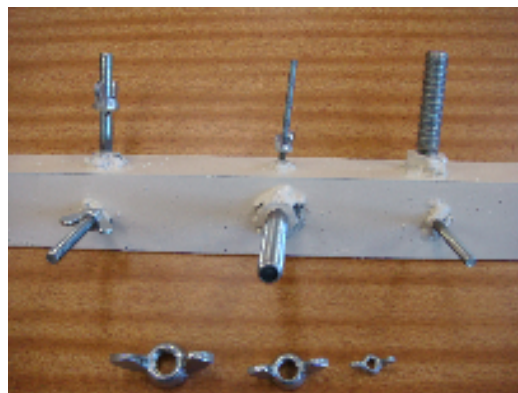
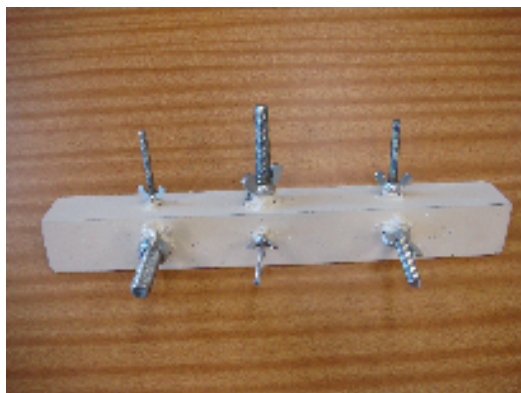
市販の「ドーナツぐらぐらゲーム」のドーナツ（重量があり、操作しやすい）と、百元ショップの皿置きを改造した棒土台を使用する。棒の先が認識しやすいように赤でマーキングしてある。

ドーナツは、ポンデリングは穴が大きく、フレンチクルーラーは穴が小さいなど、種類によって難易度が違うため、児童の課題によって渡すドーナツの種類を調整してやると良い。

教材・教具解説

教材教具名	ねじ回し	教科等（自立活動）	情報提供者（	中学部 1 年生	）
-------	------	-----------	--------	----------	---

教材教具写真



教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

指先の巧緻性の向上

2 発達段階など

小さな物をつまみ、回すことができる。



3 使い方

- はめられているナットを最後まで回してはまず。
- ボルトに合うナットを見つけてはめ、最後まで回して止める。


児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

- 蝶ナットのため、指で回しやすかった。
- どこまですると終わりになるかが見えることから、集中して頑張ることができた。
- 一目で全種類のボルトが見えることにより、意欲を引き出すことができる。
- ボルトに合うナットを見付けることには課題が残る生徒が多かった。（大きめのナットをはめてしまう）シールをボルトとナットに貼るなどしてマッチングさせることも可能である。
- 蝶なしのナット等に変えたりして更に巧緻性を高めることができる。


教材・教具解説

教材教具名 外部スイッチ対応扇風機	教科等 (自立活動)	情報提供者 (中学部3年生)
<p>教材教具写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p>教材教具の概略(ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「見る」「追視する」練習 ○ 因果関係理解(スイッチ操作) <p>2 発達段階など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重度重複児童生徒 ○ 視覚に障害のある児童生徒など <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スイッチにつなぎ自ら操作する。 		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)</p>		
<p>市販の扇風機に外部スイッチ用イヤホンジャックを取り付ける(コード、はんだ付け)。 元々赤色を認識しやすいので赤色の羽根に注目することができたが、風が起こるとより注目度が高くなった。(視覚と皮膚感覚の相乗効果)</p> <p>ビッグマックの通常のスイッチでは、押し続けているときに扇風機が回るが、ある生徒の場合、風が吹くと喜んで手をたたきスイッチから手を離すので羽根が止まる。ビッグマックに数秒録音(無音でよい)し、その間電気が流れるような設定(ラッチ機能)をするとその間は羽根が回り続ける。止まればまたスイッチを押すようになり、活動を繰り返し行うことができるようになった。</p>		


教材・教具解説

教材教具名 クリップ留めの練習	教科等（自立活動）	情報提供者（ 中学部3年生 ）
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい クリップ留めの活動を通して、指先に力を入れることを練習する。</p> <p>2 発達段階など 指先に力を入れる動作が得意でない。</p> <p>3 使い方 ○ 好きなキャラクターの絵カードとその名前の付いたクリップを対応させて留める。</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）</p>		
<p>かばんのフックの開け閉めなど指先に力を入れる活動が得意でなかったため、クリップ留めの活動に取り組んでみた。本人にとって魅力のない内容でないやってみようという気持ちになりにくいため、好きなキャラクターを活用したところ、1回目から興味をもち、楽しんで活動している。</p> <p>最初は紙をラミネートしただけの厚さであったが、スムーズに取り付けができるようになったため、段ボールの厚みをもたせたところ時間を掛けながらも指先に力を入れてクリップを開くように頑張っている。</p>		

教材・教具解説

教材教具名 箸の練習	教科等（自立活動）	情報提供者（ 中学部3年生 ）
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい 箸の扱いに慣れ、食事で使えるようになる。</p> <p>2 発達段階など 動的三点握りができるが操作の自由度は高くない</p> <p>3 使い方 ○ 左側のトレイからキャラクターの付いたボールを補助箸でつまみ、同じキャラクターの付いた右の小部屋へ入れる。</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）</p>		
<p>保護者より箸が使えるようになってほしいという希望はあるが、本人に箸を使って食事をしてみようという意欲をもたせることには難しさもあり、さらに箸を使用しての食事を強いられることで食事自体が苦痛になってはいけないという心配があったため、食事以外の場面で箸を使った活動を設定してみた。</p> <p>本人にとって魅力のない活動でないとやってみようという気持ちになりにくいため、好きなキャラクター同士をマッチングする活動にしたところ、1回目から興味をもち、箸を使う活動にもスムーズに取り組むことができるようになり、また回を重ねるごとに操作も上達している。OTからの助言により、今後はボールの形態を丸い物から楕円の物、長細い物、より小さい物など形を変えて取り組んでいきたい。</p> <p>また、初歩の段階であれば、素材はつるつるしたものより、今回のような滑りにくい物がよい。そして食事への活用も箸が盆の上にあることに慣れること、メニューの中から食べやすいものを1品選び、「今日は〇〇だけ箸で食べてみようか。」などと取り組んだらどうかとアドバイスをいただいている。</p>		

教材・教具解説

教材教具名 ブランコ&スクーターボード	教科等 (自立活動)	情報提供者 (中学部3年生)
<p>教材教具写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>①</p>  <p>ブランコ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>②</p>  <p>スクーターボード</p> </div> </div>		
<p>教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい 感覚統合訓練 姿勢の保持機能の向上など</p> <p>2 発達段階など 肢体不自由児童生徒他</p> <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 天井フックにロープでぶら下げてブランコとして使用。生徒の実態に応じリラクステアをベルトで固定して使用する場合もある。 ○ キャスターが付いているので、スクーターボードとして使用できる。 		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 特に、ブランコとして使用する場合はコンパネがたわむので、相応の補強が必要である。 ○ コンパネ、表面の布の間にクッションシート (百円ショップ) をはさんだ。 ○ 揺れや振動を感じ喜んでいる。姿勢を安定させるために自らバランスをとる動きが見られたり、スクーターボードにうつ伏せに乗せると背中や首を後屈させて前方を見たりするなど主体的な動きが見られる。 		

教材・教具解説

<p>教材教具名 「社会的行動用（ソーシャルスキルトレーニング） ワークシート」</p>	<p>教科等（自立活動）</p>	<p>情報提供者（ 高等部 1 年 ）</p>
<p>教材教具写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートの実物を別紙に準備しています。 ・ 説明の視覚支援としてパワーポイント教材を別紙で準備しています。 		
<p>教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的行動形成の大きなねらいとして <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団生活の中で求められる場面に応じた言動やスキルを身に付ける。 ○ 今回のテーマのねらいとして <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶や役割を果たすこと、ルールを守ることを身に付ける。 ・ 状況に応じて自分の意見や主張をすること自分でできること考えることができる。 <p>2 発達段階など</p> <p>比較的軽度の知的障害や自閉症の高等部生徒を対象にしている。 （発達段階では 5～6 歳以上から 8 歳以下）</p> <p>3 使い方</p> <p>ワークシートの進行に沿って、その場面や状況が分かるような視覚支援として絵や教師によるロールプレイ等でイメージをもたせ、ワークシートから選択肢から自分なりの解決方法を見付けていく。 さらにクラスで集団討論をしてお互いに意識化を図り、生活の中での般化をしていく。</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）</p>		
<p>本教材は、自閉症の生徒にとっても視覚支援（絵やロールプレイ及びそのビデオ）による手立てを講じることで、ワークシートの内容・項目についてイメージ化をしながら取り組むことができました。そのことにより、その場面や内容に対し自分が一番とりやすい方法を選んだり、とるべき行動や言動を考えたりしやすくなりました。</p>		



いろいろなあいさつ(その1)

つぎ ばめん
次の場面にどんなあいさつをすると よいでしょうか。

あさ がっこう き さいしよ がっこう かえ
朝、学校 に来て最初 にあいさつをするとき、学校 から帰るときにするあいさつ。

そして学校のなかでせんせい よ へんじ ね が
い
言うときのことば、学校 のなか でもいろいろな場面 であいさつ つかう ことば があります。あいさつ や へんじ 返事 などをしないと 相手 を むし (し 知らん顔) した こと と 同じ です。反対 に あいさつ や へんじ 返事 を する と うれしい もの です。それを き っか け に 話 し や す くな る で し ょ う。

ばめん
場面

へんじ
どんなあいさつや返事

<p>あさ がっこう せんせい ①朝、学校について先生にするあいさつ。</p>	
<p>あさ がっこう ともだち ②朝、学校について友達にするあいさつ。</p>	
<p>せんせい なまえ よ へんじ ③先生 に名前を呼ばれたときの返事のしかた。</p>	
<p>せんせい れい い ④先生 にお礼を言うときのことば。</p>	
<p>がっこう かえ せんせい い ⑤学校 から帰るときに先生 に言うことば。</p>	
<p>がっこう かえ ともだち いう ⑥学校 から帰るときに友達 に言うことば</p>	

月 日 ()

名前 _____



いろいろなあいさつ(その2)

こんなあいさつや^{ことば}言葉かけをするのは、どんな「^{ばめん}場面」で「だれ」にあいさつをするのでしょうか。あてはまる^{ばめん}場面と^{あいて}相手の^{ひと}人 を考えてみましょう。

あいさつや^{ことば}言葉かけ

だれに

^{ばめん}場面

①「おはようございます。」		
②「おはよう。」		
③「ありがとうございました」		
④「おじゃましました」		
⑤「さようなら」		
⑥「しつれいします。」		
⑦「すみません」		



授業の前に準備をするには

つぎ はなし よ かんが
次の話を読んで考えてみましょう。

せんせい つぎ じゆぎょう ないよう じゆんび い
先生が次の授業の内容と準備をするものを言いました。

つぎ じゆぎょう きょうかしょ ふでばこ じゆんび
「次の授業は〇〇です。〇〇の教科書、〇〇のファイル、筆箱を準備しておいてください。」

きゆうけいじかん つぎ じゆぎょう じゆんび ひと
でも休憩時間に、次の授業までの準備ができない人がいます。

しつもん
質問 このようなとき、どうすればいいでしょう。

じぶん おも かつ なんこ
自分がいいと思うやり方に〇をしましょう。何個〇をしてもいいです。

①	せんせい じゆんび はなし こえ 先生が準備の話をしたらみんなで声をかけあって いっしょに準備をする。
②	じゆんび もの か だいひょう ホワイトボードに準備する物を書いて、クラスの代表の ひとがそれを読んでクラスの友達に伝える。
③	じゆんびかかり ぜんいん じゆんび かくにん 準備係をつくって全員が準備ができたかどうか確認 をする。
④	せんせい い じゆんび き じぶん 先生が言ってくれた準備するものをよく聞いて、自分で できるように努力する。
⑤	せんせい なんと じゆんび い つづ 先生が何度もみんなが準備ができるまで言い続ける。

ほか かんがえ
他にも、いい考えがあればだしあいましょう。



たの 頼まれたことはどうすればいい

つぎ はなし よ かんが
次の話を読んで考えてみましょう。

せんせい となり れんらく だれ ひと
先生が「隣のクラスへの連絡を誰かいてくれないか。」とクラスの人に頼みましたが、だれも返事をしてくれません。そして、「授業の準備でざいりょう いっしょ はこ ひと おな たの 材料を一緒に運んでくれる人はいませんか。」と同じように頼みましたが、だれも返事をしてくれません。

きょうしつ なに ひと あそ ひと
教室では、何もしていない人もいます。遊んでいる人もいます。

しつもん
○ 質問 このようなとき、どうすればいいでしょう。

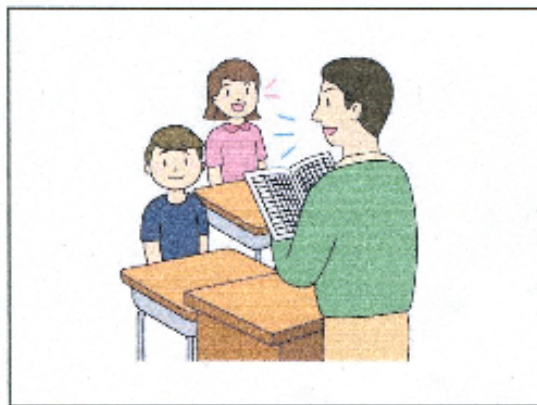
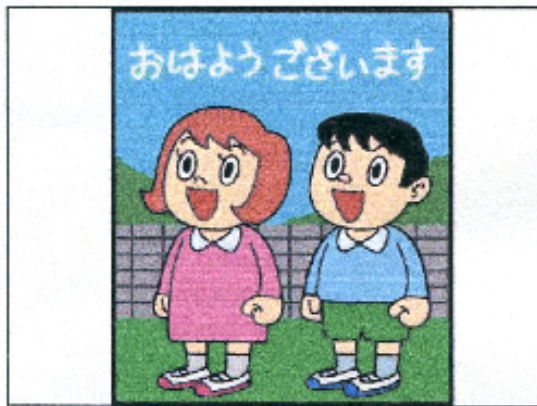
じぶん おも かた なんこ
自分がいいと思うやり方に○をしましょう。何個○をしてもいいです。

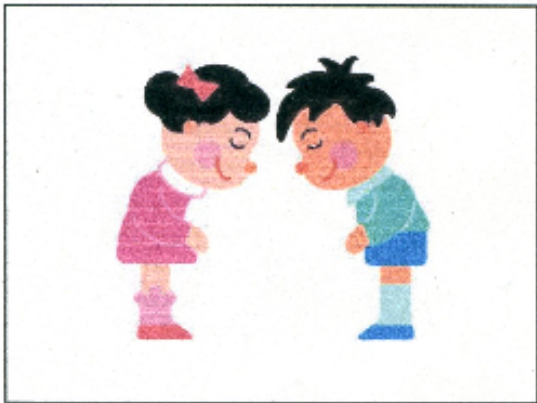
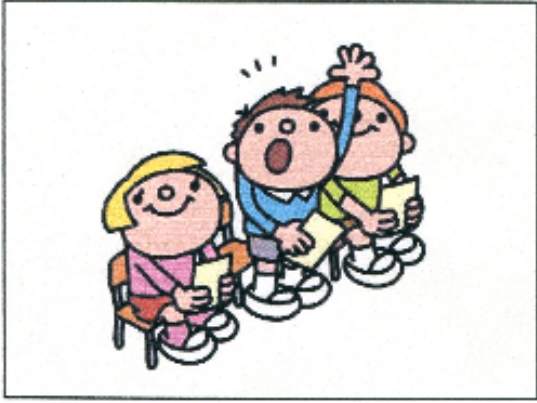
①	せんせい たの しごと てつだ かか き ひと 先生に頼まれた仕事をする手伝い係りを決めて、その人がする。
②	せんせい たの こえ いっしょ 先生の頼みごとがでたら、みんなで声をかけあって一緒に準備をする。
③	たの りゆう い 頼まれてもできない理由を言う。 たと いま おんがく き 例えば「今は音楽を聞いています」
④	せんせい がんば ひとり 先生が頑張って一人ですればよい。
⑤	せんせい なんと い つづ 先生が何度もみんなが手伝ってくれるまで言い続ける。

ほか かんが
他にも、いい考えがあればだしあいましょう。

自立活動
 生活のなかで必要な
 「あいさつ」「役割」「ルールを守る」「場面に応じた話し方」
 を身に付けるための学習です

いろいろなあいさつ





自立活動
生活のなかで必要な
「あいさつ」「挨拶」「ルールを守る」「場面に応じた挨拶の仕方」
を身につけるための学習です

いろいろなあいさつ 2

朝、学校について先生にするあいさつ。



「おはようございます」

朝、学校について友達にするあいさつ。



「おはよう」

先生に名前をよばれたときのへんじのしかた。



「〇〇くん(さん)」
「はい」

先生にお礼を言うときのことば。



「ありがとうございました」

学校から帰るときに先生に言うことば。



「しつれいします。」

いろいろなあいさつ 2

あいさつや言葉(ことば)かけをするのは

どんな「場面(ばめん)」で
「だれ」にあいさつをするのでしょうか。

①「おはようございます。」

○「だれに」

・おとな、先生、近所の人、年上の人、せんばい

○「場面」

・近所のおじさんやおばさんにあったとき
・学校で先生にあったとき
・学校でせんばいにあったとき

②「おはよう。」

○「だれに」

・友だち、年下の子ども、親しい人、きょうだい

○「場面」

・家で起きたときにお母さんに弟に
・学校へ行くときちゅうで中学校の友だちにあって
・学校で友だちに

③「ありがとうございました」

○「だれに」

・おとな、先生、近所の人、年上の人、せんばい

○「場面」

・お母さんがお弁当を作ってくれたとき
・近所の人分からないことをおしえてくれた
・せんばいが教室を教えてくれた

④「おじゃましました」

○「だれに」

・友だちの家族

○「場面」

・友だちの家に行って帰るときに友だちのお母さんに

⑤「さようなら」

○「だれに」

・友だち、年下の子ども、親しい人、

○「場面」

・学校から帰るときに友だちに

⑥「しつれいします。」

○『だれに』

・先生、おとな

○『場面』

・職員室にはいるとき先生に

・ほかの教室にはいるとき

⑦「すみません」

○『だれに』

・おとな、先生、近所の人、年上の人、

○『場面』

・大人の人や先生におねがいをするとき

・人にめいわくをかけたとき

教材・教具解説

教材教具名 PECS スケジュールボード	教科等 (自立活動)	情報提供者 (高等部2年生)
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ カードの交換システムによりコミュニケーション能力の向上や発語を促す目的で用いられるPECSを、衝動的な行動を抑制し、一つ一つの活動を落ち着いて確認しながら、一日の活動をスケジュールにそって臨むことができるようになることを主たる目的として、工夫を加えながら使用してみる。 <p>2 発達段階など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自閉的傾向 (多動、自傷行為あり) ○ S-M社会生活能力検査 (4歳11ヶ月) ○ 日常生活における言葉による指示をおおまかに理解することができる。 ○ 自分の要求を一語文もしくは二語文 (○○する) で言葉にすることができる。 ○ 落ち着いている時であれば、カードや文字、時計を用いた支援によりある程度スケジュールに沿った行動ができるが、音や集団に対する耐性が弱く、静かな場所で心の安定を図りながら日々の活動に臨んでいる。 ○ そうした自分なりの回避行動やこだわりを規制されると自傷行為を伴うパニックにつながることが多い。 <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ トラディションカードを受け取ることで、スケジュールボードに移動。(左下のボックスに入れる) 次の活動内容を確認し、そのカードをはがして右下のボックスに入れる。 ○ 「要求」がある場合には右上に貼ってある行きたい場所等の「要求」(強化子)を示した文字カードの中からそれを選び、言葉を添えてコミュニケーションパートナー(教師)に手渡し、強化子を得る。(写真カードは、取組初期の段階で要求があるときに、教室を飛び出す前に、ホワイトボードに向かえる様にするために使用したもの。) ○ 赤いカード(縦に貼ってあるもの)に要求カードを貼り、スケジュールを「変更」したり、「追加」を加えたりする。そのほかに「延期」「中止」などもあるが、今はまだ取組初期の段階のため、スケジュールに信頼性をもたせるため、「強化子」の要求があった際の「変更」のみとしている。 		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでは毎日、机上にスケジュールを書いた紙を貼り、活動が終わるごとにそれを評価する形で取組を続けて来た。その結果、安定している時期には、校内を歩いて移動する。本人の決めた場所で気分を落ち着かせて帰って来る。教室を出る際に、行き先を告げるなど、少しずつではあるが、確実な成長が認められた。 しかしながら、予定の変更に極端に弱い点や本生徒のこだわりの強さ、職場体験実習が近づきつつあることなどを考え、PECSを導入することにした。 ○ 導入に際しては、本生徒がすぐに意味を理解し、スムーズに取組を開始することができた。 まだまだ取組を始めたばかりの段階で、大きな変化は見られないものの、トラディションカードを示すと小さな要求カードを自分ではがして、教師に手渡したり、終わった活動を示すカードを自分からスケジュールボードからはがしたりするなど、着実に定着しつつある。また、パニック時にこちらが示す文字による支援に注目してそれに従う場面も見られるなど、これまでとは異なる反応が見られるようになりつつある。 		

教材・教具解説

教材教具名 宿泊研修のしおり	教科等（総合的な学習の時間）	情報提供者（高等部1年生）
<p>教材教具写真</p> <p>別紙資料</p>		
<p>教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宿泊研修の目標、日程、活動内容、施設利用上のマナー、食事のマナー、公共交通機関利用のマナーなどについて知る。 <p>2 発達段階など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象：単一 I 類型生徒 <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事前学習・当日・事後学習を通して使用。 パワーポイント・ビデオ映像による提示と合わせて資料として活用した。 ○ 会計ノート・感想欄も設け、宿泊研修の記録としても活用した。 		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真やイラストを用い、簡潔で分かりやすい文章表現、文字・記入欄の大きさを工夫したことで、生徒にとって内容を理解しやすく、使いやすかったようだ。 		

平成23年度 高等部1年生

宿泊研修のしおり

広島市立広島特別支援学校

高等部1年 () 組

名前 ()

宿泊研修の目標

- ・自分のことは自分でする
- ・みんなで一緒に行動する
- ・施設の利用の仕方やマナーについて知る
- ・ホテルの利用の仕方やマナーについて知る

日時

平成23年9月15日(木)

～16日(金) 1泊2日

宿泊場所

ホテルサンルート広島

広島市中区大手町三丁目3-1

082-249-3600



学習計画

6/13(月)	・学年 ・グループ	・日時、場所、目標 ・学習計画
6/20(月)	・グループ ・クラス	・クラスごとの体験場所 ・体験先での日程、活動 時間、補助手帳など
	・グループ	・高齢者施設(デイサービスセンター、特別高齢者老人ホームなど)について
	・グループ	・ボランティアとしての 態度と心構え
	・グループ ・クラス	・介護実技(お茶出し、ド ライヤーかけ)
	・グループ ・クラス	・係活動について ・クラス目標、個人目標
	・クラス	・マナー講座(ホテル、交通 機関、ハイキング料理)
	・クラス	・ボランティアリハーサル
	・クラス	・荷物点検 ・日程など確認

クラス目標

自分の目標

自分の係は () 係です。

仕事内容は

○日程<1日目 9月15日(木)>

時間	活動内容	※
8:00	開校	
9:20	授業式	
9:40	開校式	
	高崎警察署 署長 挨拶	
	ボランティア活動 高崎警察署 署長 挨拶	
	学校舎 見学 (任意参加)	
14:00	学校舎 ・校舎の建築など	
15:30	学校舎	
15:40	ホテル 見学 入館式	
	ホテルでのマナーレクチャー	
17:30	夕食 懇話会	
18:00	入浴 学校舎 就寝準備	
21:30	就寝	

○日程<2日目 9月16日(金)>

時間	活動内容	※
6:00	起床 朝食	
6:30	開会	
7:00	高崎警察署 署長 挨拶	
8:40	開校式 ホテル 見学	
	高崎警察署 署長 挨拶	
	ボランティア活動 高崎警察署 署長 挨拶	
	学校舎 見学 (任意参加)	
13:30	授業式 下校準備	
14:40	下校	

4 総部位別表

元組川リバー

2401	2403	2405	2407	2409	2411	2413	2415	2417	2419	2421
2402	2404	2406	2408	2410	2412	2414	2416	2418	2420	2422
2400	2401	2402	2403	2404	2405	2406	2407	2408	2409	2410
2411	2412	2413	2414	2415	2416	2417	2418	2419	2420	2421
2422	2423	2424	2425	2426	2427	2428	2429	2430	2431	2432
2433	2434	2435	2436	2437	2438	2439	2440	2441	2442	2443
2444	2445	2446	2447	2448	2449	2450	2451	2452	2453	2454
2455	2456	2457	2458	2459	2460	2461	2462	2463	2464	2465
2466	2467	2468	2469	2470	2471	2472	2473	2474	2475	2476
2477	2478	2479	2480	2481	2482	2483	2484	2485	2486	2487
2488	2489	2490	2491	2492	2493	2494	2495	2496	2497	2498
2499	2500	2501	2502	2503	2504	2505	2506	2507	2508	2509

中組川リバー

マナー講座① ~公共交通機関のマナー~

○電車やバスに乗るときは、次のことを見につけよう



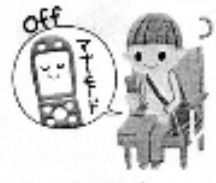
1. 電車の入る方、出る方を見



2. 乗降のときは、おしよりの
をせず、しずかにします。



3. 高齢者や体の不自由な方に、
座席を譲ります。



4. 携帯電話は通話やメール、マ
ナーモードにします。もしも、通話
が必要の場合は、すみやかに退席し
ます。

主催：JR 企画バス

http://www.etsuoge.co.jp/kobe/mauna.html

マナー講座② ～ホテルでのマナー～

○部屋の使い方

- 1) 荷物は荷物置き、または床の上に置く
- 2) テレビの音を大きくしない
- 3) 窓を開けない
- 4) お湯は沸かさない。使うときは先生に言う
- 5) ごみは、ごみ箱に入れる。
- 6) クーラーや電気の操作がわからないときは、先生に聞いてください。

- * 中から盗まさないようにします
- * 部屋の鍵は先生が預かります
- * 部屋の本物は貸しません
- * 先生が電話をかけることがあります。電話がなつたら出ましょう

マナー講座② ～ホテルでのマナー2～

○シャワーの使い方

* コーネットバスなので、トイレとシャワーは同じ設備にあります。

- ① 浴槽やタオルはトイレにふたをして、その上におきます
- ② シャンプーやリンスをバスタブの近くに置きます
- ③ シャワーカーテンをバスタブの中に入れます
- ④ 水を流します（青い蛇口を開く）
- ⑤ 赤い蛇口を少しだけまわし、お湯を出します
- ⑥ シャワーに切り替えます
- ⑦ シャワーを止めるときは、赤い蛇口からとめるようにします

○ホテルからの洋服

- 1) スリッパと浴衣は、部屋の中だけで使う
- 2) 非常口を確認してください
- 3) 廊下では静かにしましょう

マナー講座③ ～食事・バイキングのマナー1～

○食事のマナーを守って、楽しく、おいしく食べよう



① 口の平に箸を突立てるおしっぺがする。



② 箸を立てておしっぺがする。



③ 箸を口に咄ちて、くしゃみやおしっぺがする。



④ 箸を口に咄ちて、箸の端を口に刺さる。

* 参考図書 『食卓マナー』 主婦の友社
『マナーの心得、Etiquette・マナーの読み方』 主婦の友社

マナー講座③ ～食事・バイキングのマナー2～

○バイキングのときは、次のことに気をつけよう

- ① まず、お皿の上に、はしやフォーク、おしぼりをのせてから席へ移動します。
- ② 料理を取りに行きます。順番に並んで取ります。



しんがたん
準備物について

- ★服装について (2日分とも)
 - ・えびのついでポロシャツ
 - ・ズボン (ジーパン× スカート×)
- ★がばんに入れてくるもの
(前日もってくるもの・・・持ち帰って)

準備物	持ち帰ってチェック	学校でチェック
下着		
靴下		
履くときの靴 (シューズ)		
ハンカチ		
ティッシュ		
財布		
現金 (現金収入)		
お零用钱 (お零用钱)		
(当日もってくるもの・・・移動用がばんに入れて)		
宿舎への入庫のしおり		
ボランティア研修のしおり		
学校用品		
水筒		
貴重手帳		

会計ノート

- ★一人1800円貸します。
- ★交通費と夕食代、クラス活動の費用を記入します。
- ★現金は、裏に封つてお家の大人に預けてください。

項目	収入	支出	残高

9月15日(木)の様子

今日の感想

Handwritten-style rounded rectangular box with horizontal lines for writing.

学校より

Handwritten-style rounded rectangular box with horizontal lines for writing.

9月16日(金)の様子

今日の感想

Handwritten-style rounded rectangular box with horizontal lines for writing.

学校より

Handwritten-style rounded rectangular box with horizontal lines for writing.

教材・教具解説

教材教具名 ボランティア研修のしおり	教科等 (総合的な学習の時間)	情報提供者 (高等部 1 年生)
<p>教材教具写真</p> <p>別紙資料</p>		
<p>教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宿泊研修で行うボランティア研修に関わって、高齢者・高齢者施設、ボランティアとしての態度と心構え、介護実技、日程、場所、活動内容について学習する。 <p>2 発達段階など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象：単一 I 類型生徒 <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事前学習・当日・事後学習を通して使用。 <p>事前学習では、パワーポイントやロールプレイング、介護実技練習と合わせてワークシート、資料として活用した。</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ イラストを用い、簡潔で分かりやすい文章表現を工夫したことで、生徒にとって内容を理解しやすかったようだ。 		

へいせい おんど
平成23年度
 こうとうがく ねんせい しゅくはくけんしゅう
高等部1年生 宿泊研修
 せいけん
ボランティア体験のしおり

ひろしましりつひろしぎとくべつしえんがっこう
広島市立広島特別支援学校

こうとうがく ねん ぐみ
高等部1年 () 組

なまえ
名前()

ちくじ
目次

- 1 こがれいしめしせつ
 高齢者施設について・・・p1
- 2 ボランティアとしての
 たいど こころがま
 態度と心構え・・・p4
- 3 がいごじつぎ
 介護実技・・・p6

○ボランティア活動について

○ボランティア活動を振り返る

1 こがれいしめしせつ
高齢者施設について

① こがれいしめしせつ
 高齢者施設とは

② こがれいしめしせつ
 高齢者とは

高齢者とは、 _____ のことです。



p1

人は年をとるにつれて、目が見えにくくなったり、
 耳が聞こえにくくなったり、体が重くなったりします。
 このことを _____ します。

・からだの状態や、こころの状態は、ひとりひとりの
 違います。だから、決まった年齢で「高齢者」
 をわけることはむずかしいのです。

・「介護保険」という法律では、 _____ 歳以上の人の
 ことを「高齢者」といいます。

・平均寿命(*1)は、世界で日本が第 _____ 位で、
 男性は _____ 歳、女性は _____ 歳です。

・日本では、5人に1人が高齢者です。

(*1) 平均寿命とは、0歳の人が将来平均して何年生
 きていくことができるかをしめす年齢のこと

p2

③高齢者が利用できる制度について

年をとって、今までできたことができなくなったら、毎日の生活に支障がないよう、いろいろなサービスが利用できます。利用できるサービスは、困っている内容や、家の事情などで違います。

	グループホームや特別養護老人ホームで生活をします。
	デイサービスセンターや、デイケアセンターに行き、入浴やリハビリをします。その後、また家に帰ります。
	ヘルパーさんが家にきてお話をします。

④高齢者施設の様子をビデオで見ましょう 気持ちや感想を書いてみましょう

p 3

③高齢者が利用できる制度について

年をとって、今までできたことができなくなったら、毎日の生活に支障がないよう、いろいろなサービスが利用できます。利用できるサービスは、困っている内容や、家の事情などで違います。

	グループホームや特別養護老人ホームで生活をします。
	デイサービスセンターや、デイケアセンターに行き、入浴やリハビリをします。その後、また家に帰ります。
	ヘルパーさんが家にきてお話をします。

④高齢者施設の様子をビデオで見ましょう ビデオの様子について、下の空欄を○の×をつけましょう

居宅ホームでは、1人で寝るための準備をしてもらいます。	○
デイサービスでは、夕食サービスが1人だけ。	○
デイサービスでは、お風呂でソープをかけていただきます。	○
常に専任ヘルパーさんが、サポートをします。	○

p 3

2 ボランティアとしての態度と心構え

◎服装



p 4

◎態度

① 「おじいちゃん」「おばあちゃん」と呼ばない



呼び方は名前です。名前が分からない時は、「すみませんが・・・～してもいいですか」などと、声をかける

② 「～してもいいですか」など声をかける。

声から何をやるのか、伝えるようにする。

③ はっきりと、聞こえる声で、敬語で話す。



p 5

②注意すること

- ・車いすをおさない、分からないことはしない。
- ・大きな声をださない
- ・とんだり、はねたりの、きったりのしない。
- ・杖に柱らない
- ・ボランティアに行って知ったことを、家に帰って話さない（秘密保持）

3 介抱要領

①お茶出し

- 1) お茶はコップに半分よりちょっと多めくらいに注ぐ
- 2) 声をかけて優しく置く
- 3) こぼさずに運ぶ
- 4) なくなってから、持っていく



p6

②ドライヤー

- 1) 片手でドライヤーを持ち、片手は髪へあてる
- 2) ドライヤーを1が所に長くあてない
- 3) 自分の手に、ドライヤーの熱をあてながら髪がめくる
- 4) 顔にあてない



③車いす

- 1) 必ずブレーキをかけて、フットレストをひらく
- 2) 座ったら、フットレストに足を置く
- 3) 手が外に出ていないことを確認して声をかけてから、ゆっくり押す（「出発しますね」など）
- 4) 止まった時、必ず声をかける（「白がります」「止まりますね」など）



p7

○ボランティア活動について

(1) 活動場所

(2) 住所・電話番号

住所

電話番号

(3) 活動の流れ（1日目）

学校出発（徒歩）	
交通手段	乗車専用バス（乗るところ）
目的地	駐車専用バス（降りるところ）
施設到着	
活動内容	
施設出発	

交通手段	乗車専用バス（乗るところ）
目的地	駐車専用バス（降りるところ）
学校到着	

(4) 活動の流れ（2日目）

学校出発（徒歩）	
交通手段	乗車専用バス（乗るところ）
目的地	駐車専用バス（降りるところ）
施設到着	
活動内容	
施設出発	
交通手段	乗車専用バス（乗るところ）
目的地	駐車専用バス（降りるところ）
学校到着	

○ボランティア活動を振り返る

☆自分の活動を振り返ろう。できたものに○しよう。

服装や身だしなみに気をつけた	
言葉使いを丁寧にした	
ボランティアとしての態度を守れた (注意事項含む)	

☆ボランティアをしてみたの感想を書きましょう。

(よかったこと、うれしかったこと、驚しかったことなど)

教材・教具解説

教材教具名	ウエス布 裁断補助器	教科等 (進路学習)	情報提供者 (高等部 1 年生)
<p>教材教具写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div>			
<p>教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>			
<p>1 ねらい ウエス作り用布を裁断する。</p> <p>2 発達段階など 対象：高等部 1 年生</p> <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 台にウエス用布を広げておく。 ○ 両端の溝に板をはめ込む。 ○ 真ん中の溝に沿ってはさみを入れて裁断する。 			
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 布が固定されるので切りやすい。 ○ はさみ下部を溝に沿わせるので、はさみが安定してまっすぐに切ることができる。反面、はさみ上部がぶれるので、切り口がギザギザになることがあった。 			

教材・教具解説

教材教具名 紙工用 視覚支援シート	教科等 (作業学習)	情報提供者 (高等部2年生)
<p>教材教具写真</p>		
<p>教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい作業工程に入る際に、作業手順をあらかじめ写真や文字にして提示することで、できるだけ少ない支援で、新しい作業にスムーズに臨めるようになる。 <p>2 発達段階など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自閉的傾向（多動、自傷行為あり） ○ S-M社会生活能力検査（4歳11ヶ月） ○ 日常生活における言葉による指示をおおまかに理解することができる。 ○ 自分の要求を一語文もしくは二語文（○○する）で言葉にすることができる。 ○ 落ち着いているときであれば、カードや文字、時計を用いた支援によりある程度スケジュールに沿った行動ができるが、音や集団に対する耐性が弱く、静かな場所で心の安定を図りながら日々の活動に臨んでいる。 ○ 作業性が高く、作業に見通しがもてると集中して作業に臨むことができる。 <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ あらかじめカッターマットやトレイ等を使い、作業台の上を構造化し、加工前の紙袋(写真のシートの場合)を取ってくるシーン、自助具を使い製品化するシーン、次の作業工程の人に手渡すシーン等、本人の作業手順に従い、本人の視点から見た画像やそれに文字を加えて配列し、シート化するなど、できるだけ一目で理解できるよう配慮した。 ○ 作業に際しては、そのシートに注目できるよう、教師による示範や言葉掛け等により促しながら実際の作業を進め、それを繰り返すうちに教師の支援を減らし、それらがなくても視覚支援シートを手掛かりに作業ができるように作業を進めて行く。 		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）</p>		
<p>シート上の画像の配列や作業台の構造化、作業工程の難易度など、様々な要素の組み合わせにもよるが、今回の紙袋の製作については、一枚ものシートで統一したためか、どの作業工程ともすぐに作業手順を理解し、教師の軽い支援や独力で作業に臨むことができるようになった。</p>		

教材・教具解説

教材教具名 視力検査お助けセット	教科等 (その他)	情報提供者 (小学部4年生)
<p>教材教具写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p>教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい 視力検査の際に、ランドルト環を使用しての検査ができるようになること。また、ランドルト環が開いている方向を言葉や指さしを使って自分で伝えられること。</p> <p>2 発達段階など 形のマッチングができる段階。</p> <p>3 使い方 ホワイトボードに児童の視線の高さにランドルト環を貼り、より注目しやすいようにその上に重ねてマグネットの枠を付ける。指定された距離に児童を立たせ、目の前に「うえ」「した」「みぎ」「ひだり」の4パターンのランドルト環のシンボルと字が書かれたカードを並べる。字を読める児童は枠の中と同じ向きのカードを選んで答えたり、字が読めない児童はカードを選び取ったりして検査をすることができる。離れた所と手元との見比べは難しいが、字が読めるという児童であれば、ホワイトボードのランドルト環の下に4つのカードを貼ることで、視線の動きが少なくてすむため字を読んで答えることができる。</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)</p>		
<p>前年度まで、果物模型等を使用しての視力検査を行っていた児童も、これらのカードや枠を使用することで、ランドルト環を使つての視力検査を実施することができた。使用前に、カードの字を読ませたり枠を使って見せたりすると検査に取り組みやすいと思われる。</p>		

教材・教具解説

教材教具名	パーテーション	教科等 (各教科)	情報提供者 (中学部 1 年生)
-------	---------	-------------	--------------------

教材教具写真



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

- 環境による刺激を減らし、学習に集中させる。
- 好きな活動をすることで、気持ちを切り替えリラックスさせる。

2 発達段階、障害特性等

- 自閉症の生徒を中心に使用。
- 着席して学習したり休憩することができる生徒。



3 使い方

- 個別学習をするときに使用している。
 - ・ 人の動き、物の存在などの刺激が入りすぎて、学習に集中できない生徒に、個別学習を行う場として使用。
 - ・ 自立課題や作業学習を、準備から提出まで一人で行う場としても使用。
- 休憩や気持ちを切り替える場としても使用させたい。
 - ・ 狭い教室内で、友達がたくさん活動している状況の中、自分の気持ちを切り替えることは、自閉症の生徒にとって非常に難しい。そのため、このパーテーションルームに入って好きな活動することを、気持ちを切り替える手段の一つとして定着させたい。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)


- パーテーションルームの使用についてはルールが必要。
 - ・ 個別学習の場であることの確認。
(友達が使用しているときには入らない。別のブースを使用する。学習が終わったら出る。)
 - ・ 休憩の場として使用する場合は、カードなどにより先生の許可を得る。
休憩時間が終わったら出る。
(学習の場としているブースを休憩の場として使用してくれるかどうかは、今後の取組による。)
- * 持ち運んだり折り畳んで片付けたりできるように、釘を打たずに針金で止めている。
配置の工夫によって、様々な形態の使用が可能となる。

教材・教具解説

教材教具名	補助具	教科等（各教科 等）	情報提供者（ 中学部 1 年生 ）
<p>教材教具写真</p> <p style="text-align: center;">横から見た写真</p> 			
<p>教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>			
<p>1 ねらい</p> <p>絵カードをボードに貼るときに、親指がボードとカードの間にはさまったままで、指がぬけず、手を離すことが難しかったので、それを防ぐために補助具を準備しました。</p> <p>2 発達段階など</p> <p>肢体不自由の生徒が活用する。</p> <p>3 使い方</p> <p>裏面に磁石を付けた補助具を手に持ち、絵カードに付いている磁石と合わせてボードに貼る。</p>  <p>絵カードに貼ってある磁石の面に補助具を置き、磁石を合わせてボードに貼っていく。</p>			
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）</p>			
<p>今までは、絵カードをボードに貼るときに、カードとボードの間に親指が残り、抜けにくかったが、補助具を使うと、手を離すことが容易になった。</p> <p>磁石が絵カードにも補助具にも付いているので、いろいろなカードに付け替えてボードに貼り付けることができる点が良かった。</p>			

教材・教具解説

教材教具名	セルフコントローラー	教科等 (全般)	情報提供者 (高等部 1 年生)
<p>教材教具写真</p> <div data-bbox="528 398 1018 763" style="text-align: center;">  </div>			
<p>教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>			
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の操作で機器の ON・OFF 操作ができる。 <p>2 発達段階など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象：重度・重複障害児 <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 使用したい機器のコンセントを本体のコンセント差し込み口に差し込む。 ○ 本体のコンセントを差し込み、本体スイッチを入れる。 ○ 赤と青のボタン操作で機器の ON・OFF 操作をする。 <p>* ビッグマックなどと接続し、ON・OFF 操作をすることもできる。</p>			
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)</p>			
Empty space for student reactions and feedback			

教材教具名 給食カレンダー	教科等（その他）	情報提供者（保健指導部 給食係）
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい 給食の献立メニューが分かる。</p> <p>2 発達段階など 全校児童生徒</p> <p>3 使い方 毎月、各学級1部ずつ配布し、児童生徒の実態に応じて、色塗りをしたり、毎朝献立の確認をしたりして使用する。</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）</p>		
<p>小学部から高等部まで全クラスに毎月配布して使用している。児童生徒の実態に応じて使い方は様々だが、献立のイラストを色塗りしたり（枠や線、そのものの色を意識して塗る）、毎朝献立を確認して見通しがもてるようにしたり、メニューを声に出して確認する際に同じように言うことで発声を促すようにしたりして使用している。文字だけでは理解が難しい児童生徒にとって、献立がイラストになっているので、大変分かりやすい。</p>		